

会 議 録

会議の名称	第33回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会会議
開催日	令和2年10月13日(火)
開催時間	午後2時00分～午後2時50分
開催場所	白岡市生涯学習センター〔こもれびの森〕1階 多目的ホール
会長の氏名	野口仁史
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	田沼健一、明野真久、細井将司、鶴岡 洋、佐々木 操、矢島静江、浅野悦子、廣田勝明、小川幸一、伊藤太佳博、關根光敏、牧 紀水子、野口仁史、酒卷光範、中村輝久 15人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	高原 昭、前島雅史、小川ゆかり、新井政文、尾崎晴男 5人
説明員の職・氏名	市民生活部 部長 篠塚 淳 地域振興課 課長 岡安久美子 地域振興課 公共交通推進室 室長 小林聡一 地域振興課 公共交通推進室 主査 中野立士
事務局職員の職・氏名	市民生活部 部長 篠塚 淳 地域振興課 課長 岡安久美子 地域振興課 公共交通推進室 室長 小林聡一 地域振興課 公共交通推進室 主査 中野立士 地域振興課 市民協働担当 主任 齋藤裕功 地域振興課 市民協働担当 主事 小林菜瑞乃
その他会議出席者の職・氏名	傍聴者 0名
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 会議事項 (1) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領(案)について (2) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書

	<p>(案) について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
配布資料	<p>会議次第</p> <p>資料1 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領 (案)</p> <p>資料2 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書 (案)</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>篠塚市民生活部長の進行により会議が開会した。</p>
野口会長	<p>2 挨拶</p> <p>野口会長から挨拶が行われた。</p>
野口会長	<p>3 会議事項</p> <p>規約に基づき、野口会長の進行で会議事項が図られた。</p> <p>(1) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領 (案) について</p> <p>(1)について事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>事務局から資料1に基づき、説明が行われた。</p>
野口会長	<p>本件に対する質疑を求める。</p>
A委員	<p>資料1の5ページの②安全管理について、安全管理に新型コロナ対策関連の項目を入れた方が良いのではないか。</p>
事務局	<p>事務局で検討したうえで、新型コロナウイルス対策の終期が分からないことから、明文化せずに運用の中で新型コロナウイルス</p>

事務局	対策も評価したいと考える。
野口会長	他に質疑は。 (質疑はなかったため、会議事項(1)については原案のとおり承認された。)
野口会長	次いで、実施要領にある選定審査委員について、私から指名させていただくことでよろしいか。 (質疑なし)
野口会長	6名で検討しており、副会長の佐々木委員、監事の浅野委員と伊藤委員、交通関係の研究者である尾崎委員、事務局側から篠塚市民生活部長、そして私（野口会長）の6名としたいがよろしいか。 (質疑はなく、会長案が承認された。)
野口会長	(2) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書(案)について (2)について事務局に説明を求める。
事務局	事務局から資料2に基づき、説明が行われた。
野口会長	本件に対する質疑を求める。
B委員	資料2で下線が入っている部分が前回からの変更点でよろしいか。
事務局	前回仕様書からの変更点は下線部のみである。

B 委員	<p>過去 2 回の公募型プロポーザルにおいて、何社が手を挙げたのか、また、どのように周知を行うのか。</p>
事務局	<p>業者選定の実績は、現在契約している 1 社のみである。</p> <p>周知方法については、市ホームページで募集をかけるとともに、今回は新型コロナウイルス対策の交通事業者支援事業で市が支援金を出した市内乗り入れ事業者に声をかける予定である。</p>
B 委員	<p>仕様書の内容があまり変わらない中で、今までも 1 社しか手が挙がっていない状況では、企画・提案に競争の原理が働いていないのではないかと。</p> <p>そのことについては、違う地域の業者にも声をかけるなど改良できることはないかと。</p>
事務局	<p>新たに興味を持っていただく事業者を探すことは、今後の課題と考えている。</p> <p>例えば、のりあい交通を SNS などでも広く周知を行い、事業者に興味を持っていただければと考えてはいるが、有効的な方法は模索している状況である。</p>
B 委員	<p>コロナの状況では、一般のタクシー事業者などは、収益が減っており手を上げる可能性もあるので、引き続き周知方法は検討していただきたい。</p>
事務局	<p>課題を整理し、色々な運行事業にお声がけできるよう次回以降、検討していく。</p>
野口会長	<p>他に質問は。</p>
C 委員	<p>8 ページの「8 委託料の支払」の※の部分について、「協力する」と記載があるが、実際には、必要書類の運行事業者でないと作成できない書類となるため、「協力する」ではなく、仕様の中で運行事業者が行う業務とした方がよいのではないかと。</p>

事務局	<p>仕様の中で必要書類の作成等を明記することにする。</p>
D委員	<p>先程、競争原理が働かないとの質疑があったが、参加しない理由の1つとしては、市で行っている事業のため、運行事業者としては、商売敵ができる認識となる。</p> <p>そのため、デマンド方式ではなく、タクシー券方式の方法を「のりあい交通」を立ち上げる前段の会議から提案してきた。</p> <p>今回の1台増車についても、将来的にはタクシー券方式でもコスト面で差が出ないと考えるが、今後はタクシー券方式も検討できるか。</p>
事務局	<p>公共交通はデマンド型として意思決定しており、持続可能な運行方式となるように改善していく。</p> <p>そのため、現状では「タクシー券方式」は考えていない。</p> <p>(質疑はなかったため、会議事項(2)については原案のとおり承認された。)</p>
野口会長	<p>補足となるが、実施要領については疑義が生じた場合や詳細を詰める必要があった場合には、6名の選定審査委員と事務局で内容を決定させていただくのであらかじめご了承ください。</p>
A委員	<p>4 その他</p> <p>今のバスの状況について、説明させていただきたい。</p> <p>新型コロナの影響で国土交通省が調査を行ったが、バス、タクシー事業者の収入は大きく減っており国や自治体等の支援もありどうにか維持している状況である。</p> <p>また、関東管内のバス会社で54件、法人タクシーで12件が廃止となっており、非常に苦しい状況となっている。</p> <p>バスやタクシーについては、飛沫防止や換気など安全管理は徹底できており、「安心・安全」な乗物であることを承知していただきたい。</p>

<p>A委員</p> <p>佐々木副会長</p>	<p>特に、貸切バスは前年の10%程度の収益しか出ていない状況であるが、昨年の台風19号では、運行できなくなった路線で、電車の代わりに貸切バスが地域の足を担った事例もあるので、今後も支援を行っていただきたい。</p> <p>5 閉会</p> <p>佐々木副会長から挨拶が行われた。</p>
---	---